

# 「世界の使い捨てフレキシブル内視鏡市場2022年－2031年：種類別（十二指腸鏡、気管支鏡、膀胱鏡、胃鏡、耳鼻咽喉科）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました



2022年12月1日

株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の使い捨てフレキシブル内視鏡市場2022年－2031年：種類別（十二指腸鏡、気管支鏡、膀胱鏡、胃鏡、耳鼻咽喉科）」調査資料の販売を2022年12月1日

に開始いたしました。使い捨てフレキシブル内視鏡市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート

■レポートのタイトル：世界の使い捨てフレキシブル内視鏡市場2022年－2031年：種類別（十二指腸鏡、気管支鏡、膀胱鏡、胃鏡、耳鼻咽喉科）

■英文タイトル：Single-use Flexible Endoscope Market (Type: Duodenoscopes, Bronchoscopes, Cystoscopes, Gastrosopes, and ENT Scopes) - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031

■発刊日：2022年11月16日

■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）

■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容

内視鏡は、ライトの付いた医療機器です。臓器や体腔内の検査を行うために使用されます。S状結腸鏡検査や気管支鏡検査では、口や直腸などの小さな開口部からデバイスが移植されます。近年、再使用型内視鏡による感染拡大の懸念から、使い捨てフレキシブル内視鏡の導入が進んでいます。

粘膜処置や消化管の診断・検査、消化管出血、管腔臓器の組織採取など、高解像度・高精細な画

像を提供する使い捨てフレキシブル内視鏡の需要拡大が期待されます。大手企業による十二指腸鏡、気管支鏡、超音波内視鏡などの内視鏡技術の開発は、予測期間中の市場拡大をサポートすると思われま

す。例えば、GLOBOCANのレポートによると、2020年の胃がん発生率は1,089,103人です。この数字は、2040年には1,810,870人にまで増加すると予測されています。胃がんの有病率の上昇は、がんの早期診断により売上を伸ばすと予想されます。

製品の上市と共同研究は、企業が採用する主要な戦略です。インドのアジア消化器病研究所（AIG）には、オリンパス株式会社とサイバネットシステム株式会社の協業により、[2020年10月](#)に自動診断支援システムが納入された。様々なエンドユーザー施設の開発、新製品のリリースや提携が主な市場動向となっています。シングルユースの胃内視鏡の導入が、予測期間中のビジネスを後押ししそうです。

肛門鏡、胃カメラ、膀胱鏡など、より小さな切開、より少ない痛み、より早い回復、合併症のリスクの低さまたは無さによる低侵襲手術への好みの高まりが、使い捨てフレキシブル内視鏡の市場規模を牽引しています。低侵襲手術は、より安価で、より高いQOLを提供することが知られています。がん患者数の急増、生検や超音波内視鏡の慢性疾患への応用の拡大が、ビジネスの大きな起爆剤となっています。

肥満患者の増加、手術に関する国民の意識の高まり、政府の支援などが市場シェアを拡大しています。例えば、[2022年4月](#)、米国FDAは「安全性コミュニケーション」を改訂し、医療施設や内視鏡施設は、完全または半消耗品の十二指腸鏡のみの使用に切り替えるよう再確認しています。

タイプ別では、気管支鏡が予測期間中に急成長すると予想されています。気管支鏡は、放射性物質を用いて気道がんを治療するために使用されます。また、CTスキャンやX線検査などの他の検査で肺や胸部のリンパ節に問題があることが判明した場合、組織サンプルを採取するために使用されます。

慢性閉塞性肺疾患（COPD）、副鼻腔炎、中耳炎などの肺の病気は、組織や粘液を採取して検査することで診断されます。また、気管支鏡を使って病気の重症度を評価します。

世界保健機関（WHO）は、COPDが毎年330万人の死因になると推定しています。さらに、米国がん協会では、2018年に米国で肺がんが235,070例発生したと報告されています。このことが、肺がんを特定し治療するための生検のための気管支鏡の必要性を高めています。ひいては、これが予測期間中に気管支鏡セグメントを推進すると予想されます。

エンドユーザー別では、病院が他の医療施設よりも製品の導入率や使用率が著しく高いことから、2021年には病院セグメントが世界事業を支配した。このセグメントは、先進国や新興国における有利な診療報酬政策や医療インフラの改善によって推進されています。

病院は、多くの国で主要な医療提供者となっています。また、病院は処置や手術の大部分を実施しており、これがこの分野の成長に寄与しています。病院での高い製品需要は、再利用可能な機器に関連する汚染や院内感染のリスクに対する認識が高まっていることが一因となっています。

■レポートの詳細内容はこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/data1/single-use-flexible-endoscope-market-type-duodenoscopes-bronchoscopes/>

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/contacts/>

■調査会社Transparency Market

Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について

<https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/>

株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて

<https://www.marketresearch.co.jp/>

主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供

本社住所：〒105-0004 [東京都港区新橋1-18-21](#)

TEL：03-6161-6097 FAX：03-6869-4797

マーケティング担当 [marketing@marketresearch.co.jp](mailto:marketing@marketresearch.co.jp)

---

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>